

会 議 録

会 議 名		第 5 3 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会				
日 時		令和元年(2019年)5月17日 (金)	開 始	午前14時00分	終 了	午前15時15分
場 所		八王子市役所 本庁舎事務棟7階 702会議室				
出席者	委 員	石井委員、佐戸委員、中代委員、加地委員、間嶋委員、河西委員、天野委員、清水委員、安瀬委員、中村委員、堤委員 以上11名				
	事務局等	木下資源循環部長、坂野ごみ減量対策課長、堂本廃棄物対策課長、岡部清掃施設整備課長、滝口ごみ総合相談センター所長、鈴木戸吹清掃事業所長、大塚館清掃事業所長、岡田戸吹クリーンセンター所長、中村北野清掃工場長 【ごみ減量対策課】林課長補佐、田代主査、河井主査、日下主任、森田(滋)、小口 【廃棄物対策課】河内課長補佐 【戸吹清掃事業所】小川専門幹、望月主査 【館清掃事業所】境専門幹、久保田主査 【戸吹クリーンセンター】伊藤課長補佐				
欠 席 者		富田委員、押山委員、上村委員 以上3名				
議 題		<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度リデュース・リサイクル率全国ランキングについて 2. 新ごみ処理基本計画の策定について 3. みんなの町の清掃デーの実施について 4. その他 				
公開・非公開の別		公開				
傍 聴 人		なし				
配布資料		<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 第53回ごみゼロ社会推進協議会 席次表 ・ 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 ・ 資料1 環境省発表平成29年度リデュース・リサイクル率全国ランキングについて ・ 資料2 みんなの町の清掃デー実施要領 ・ ごみ処理基本計画(本編) ・ ごみ処理基本計画(概要版) 				

<p>会議の内容</p>	<p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介 ・管理職の紹介 ・資源循環部長挨拶 ・会議次第と資料確認
<p>本題</p>	<p>1. 平成 29 年度リデュース・リサイクル率全国ランキングについて</p> <p>ごみ減量対策課林課長補佐より説明</p> <p>【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：1位ということで非常に嬉しい。館に建設中の新工場の状況はどうか</p> <p>市：予定通り令和4年の稼働を目指し進めている。</p> <p>市：リサイクル率は5位という結果になっている。八王子市は焼却灰をエコセメント化しているが、環境省の算定方法では、この重量はリサイクル率に含まれない。この部分をしっかり算定するとリサイクル率ももっと高くなり、八王子市はリデュース・リサイクル率共に、高水準だと認識している。</p> <p>1位になったから、目標を達成したというわけではなく、今後ごみの減量・資源化の取り組みを進めていきたい。</p> <p>委員：エコセメント分がリサイクル率に反映されていないというは、市民周知していくのか。</p> <p>市：出前講座等でアナウンスしていきたい。</p> <p>2. 新ごみ処理基本計画の策定について</p> <p>ごみ減量対策課 河井主査より説明</p> <p>【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：生ごみの減量資源化の今年度の取り組みについて伺いたい。</p> <p>市：3キリ運動の推進、ダンボールコンポスト普及のための各種講習会の開催や校内活用事業の実施、生ごみリサイクルリーダーの養成、設置型コンポスターの周知等を行う。</p> <p>委員：ごみ処理基本計画の概要版を各町会長に配布できないか。</p> <p>市：各町会長に配布する予定はない。</p>

	<p>委員：町会自治会連合会の定例会でごみ処理基本計画の説明をしていただくことは可能か。</p> <p>市：可能であるため、伺って説明したい。</p> <p>委員：1人1日あたりの総排出量はどこまで減らすことができるのか。</p> <p>市：ごみというのは必ず発生する。0にはできないが、まだまだ減らせる余地はあると考えている。</p> <p>委員：剪定枝の資源化事業とはどのようなことを行っているのか。</p> <p>市：焼却処理している剪定枝を資源化する事業である。現在、モデル事業として、一部の地域で実施しており、可燃ごみとは別に収集して、民間事業者を引き渡しており、チップ化し燃料となっている。</p> <p>委員：新聞に掲載されていた上履きの資源化事業について教えてほしい。</p> <p>市：焼却処理している児童・生徒の上履きと靴を市内の小中学校で回収して資源化する事業である。現在、モデル事業として、小学校5校、中学校4校で実施している。回収した物は主に発展途上国に送られ、そのまま履かれており、一部、汚れている物は裁断し固形燃料の材料になっている。小中学校で回収することと、児童・生徒が自ら排出行為をすることで、リサイクルの意識を持たせることができるので、効果的な環境教育になっていると感じている。</p> <p>委員：八王子市は分別が細かく、学生に情報が行き届いていないと感じる。大学で講習会をしていただくことは可能か</p> <p>市：学生課に紙のチラシを置いたり、学生に向けて情報を届けようとしているが、今の発言からも、まだ足りていないのだと認識している。今後、どのように啓発すれば良いのか、方策を考えたい。</p> <p>市：今度、中央大学の野球部の学生寮でごみの出し方の説明をさせていただく。今後も、大学と連携しながら、きめ細やかに啓発していきたい。</p> <p>委員：ぜひ、学生委員会のほうで市の取り組みを紹介し、市内の大学に広めてほしい。</p> <p>委員：どのような経緯で、学生寮で説明会を行うことになったのか</p> <p>市：きっかけは、現場の職員が、ごみの排出状況が悪く、何とか改善したいと大学のほうに申し入れたことである。</p> <p>委員：そういったことを行うことで、計画を進めていかなければならない。</p>
--	---

町会のほうで資料をいただいても、それを浸透させるのは非常に難しい。冊子ができて終わりではなく、実際の取り組みをさらに広げていく方法を一緒に考えていければよいと思っている。

委員：ペットボトルの蓋が一部とれない。簡単に取れるようになれば良いと思うがどうか。

委員：ペットボトルはリサイクル工場にて、破碎した後に風や水を使い選別するので、今の技術であれば、基本的にはそのまま問題ない。

3. みんなの町の清掃デーの実施について

ごみ減量対策課 田代主査より資料3を説明

【意見、質疑応答等】

委員：市長の巡回が毎回あるが、巡回の時間が遅いのでほとんどの町会が既に終わっている。どの町会もスタートが早いので、市長の出発を早くして、実際の活動を見ていただいた方が、やる側のモチベーションにつながるのではないかと。今後の課題として考えてほしい。

委員：ごみ処理基本計画の中で、町の清掃デーについて大学のサークルなどについても、参加してもらえるよう、呼びかけや仕組みづくりを行うとなっている。学生の立場でぜひ呼びかけを行ってほしい。それがモデルとなり、波及していくとよい。

市：学生委員会の代表ということなので、市内の大学全体に取り組みが広がる方法を一緒に考えていってほしい。

委員：学生委員会の中で議題にしたい。

委員：今回、参加団体を増やすために何か新しい取り組みはあったのか

市：市内の各小学校にチラシを配布し、児童を通して周知を行った。

4.その他

委員：国内で産業廃棄物の廃プラスチックの処理が追いついていない問題について、自治体で処分することを、ぜひ八王子市として前向きに考えてほしい。処理費を上げれば、処分できるという状況ではなくなってきている。八王子で出された廃プラスチックが北海道まで運ばれ、処分されている。輸送に係る環境負荷も相当なものである。

原則としては事業者の責任で行わなければいけないが、緊急対応とい

	<p>うことで検討してほしい。</p> <p>市 : 産廃の施設で処理が追いつかず、自治体で処分するということについて、総論として反対する人はいないと思う。しかし、近隣に住む方の立場で考えるとそう簡単に受け入れられる問題ではない。国の方針が具体化されたら、慎重に検討しなければならいだろうと考えている。</p> <p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、7月12日(金) 午後に戸吹クリーンセンターで施設見学会の予定。 ・会議録の署名については、堤委員にお願いする。
<p>会議録 署名人</p>	<p>令和 年 月 日 署名人</p>